データの積み重ねからこの記録は生まれた！

トライアル3ツインターボZ

●余白ファンの声　暴力団の抗争で西名阪を通って学校へ行けなくなった。恐ろしい世の中、信用できるのはＯＰＴだけです。三重県名張市・今田雅智　学生　ペケサはシンプルでセもちんじゃ。

オーナーの久保さんは、ストリートを走る時に、フロントスポイラーを外している。

インパネはステアリングコラム上にブースト・メーターをプラスしている。

このシングルターボによるデータが、今回のツインターボに多くのノウハウを与えてくれた。

フロントビューは、スポイラーイメージガスを変わる。

最高速307.95km/h をあっさりとマークした、「ドライアル3ツインターボZ」。このレコード達成の原点は、ＯＰＴ'84年8月号で紹介したトライアル3・1Eシングルターボの記録、227.97km/h。そこでこのスピードをマークした時点から、ツインターボ化した、トラフィックのS130ZGを製作する計画は始まっていた。去年の6月ごろからかなりすすむ。慎重に細心の注意を配って、エンジンを完成させたのが8月。しかし谷田部をスペシャル的なエンジンにしたがなかったため、ピストンクリアランスは6/100mmであった。

このクリアランスは、ストリート用で耐久性を重視したのだが、当然きちんとしたチューニングは不可欠。じっくり3000kmのラインを行い、暖機運転ライン内の記録は決して満足のいくものではなかった。このマシンが行きあたったのは、まず過去の最高速マシンの情報であった。

ピストンクリアランスは、ストリート用で耐久性を重視したのだが、当然きちんとしたチューニングは不可欠。じっくり3000kmのラインを行い、暖機運転ライン内の記録は決して満足のいくものではなかった。このマシンが行きあたったのは、まず過去の最高速マシンの情報であった。

エンジン　型式　Ｚ６型　ツインターボ　総排気量　2997cc　ボア×ストローク　86.0×86.0mm　最大ピストン　ピストン　ピストンリング　ＴＩＧ　ＭＩＧ　ＳＩＧ　ＳＩＧ　Ｓ